

・来賓祝辞
・PTA会長挨拶
・実行委員長
・福岡県教育委員会挨拶
・校長式辞
・国歌斉唱
・物故者に対する黙祷
・開会のことば
・式典次第
（本校体育館）



P.T.A会長 久保田一敏



実行委員長 吉田勝弥



校長 橋本輝夫

記念講演 「私はなぜ学ぶのか」 【講師】バイマーヤンジン氏 (チベット出身・大阪在住)



生徒代表謝辞

業は、今後も続けらるる
生徒海外派遣研修を除き、
大に行われました。

また、百周年記念事
業は、秋晴れに恵まれ、式
典・祝賀会は厳粛かつ盛
大に行われました。

以下、今回の記念式典・
記念講演・記念祝賀会、
記念事業についての概要
を報告いたします。

日本とチベット人の
交流などに努めています。
日本人の嫁さんになれ
て良かったなあと思つて

一番近い都会までバスで
二日かかる。大阪に来て
驚いたのは、交通の便利
さである。飛行機、新幹線、
地下鉄、モノレール、車
の数はチベットの牛の数
よりも多い。日本は機械だ
らけで掃除機、洗濯機、
エアコン等あるが、チベ
ットでは、今でも洗濯板
で洗っている。雪解けの
水は冷たく痛い。

もっと感動したのは、
日本の四季。春は桃、桜、
夏は海開き、秋は紅葉。
もない。大阪の冬二、三

〇〇mで、木がない、海
二〇°Cとかマイナス二五
°Cになる。チベットの平
均寿命は五十歳。

日本人の嫁さんになれ
て良かったなあと思つて

いる。お米美味しい。私は、
なぜ、こういうことがで
きたかなあと思つて。日本
は天国、私の幸せ
度は何%?

私は貧しい村の貧しい
家庭に育ったが親は良か
った。親は文字が読めず
書類に判を押し、だまされ
て土地を取られた。字
を読めないのは羊と同じ。
親は気づいた。『読み書
きさせたい』と。一番上
の兄は働き、私は勉強を
することことができた。兄に
は感謝の気持ちで一杯。
兄に一年分のお米と石炭
を買った。文字が読めな
いと建設現場でも良い仕
事に就けない。

私は高校では、夜十時
の消灯後はトイレの灯り
で勉強。冬はマイナス二

〇°C、夏は臭かったが、
大学に合格した。中国の
都会の大学へ行くと『チ
ベット人は野蛮人だ』と
いじめを四年間受けたが、
親や村中の人達が応援し
てくれたので、頑張
り卒業した。卒業した時、
部屋に二人来た。そして
『チベットは素晴らしいと
ころですね。』と言われた。
今の主人です。辛いこと
乗り越えた時に、主人
に出会うことが出来た。

パパに『どうして日本
はすごいのに、チベット
は大変なのか?』を聞い
た。『教育だよ。日本は
資源がないけど、技術を
磨いてきたから。』と言
われた。

日本のお母さんは、元

気で八十一歳。今でも車
を運転し、パソコン等も
出来、オシャレである。

チベットの母と同じ女
性なのに何でこんなに違
うのか?』を聞いた。お

母さんは『戦後、外地か
ら苦労して引き揚げ、日
本に帰ってきたが、焼け
跡。歯を食いしばって頑
張つてきた。チベットも
思つてはいるだけではなく、
働くこと、頑張ること。』
と言われた。

私は『チベットに学校
をつくろう』と決心し、
十校が出来た。日本の方々
が応援してくれた。

この同窓会長が『生
徒の就職は百分率』と自慢
された。今、中国では和
食を食べれば長生きでき
ると信じられている。日
本人に和食レストランを作
ってください。私もお客様
を連れて行きたい。

久留米、日本、アジア、
世界のために活躍してい
ただきたい。』

チベットと日本の生
活・文化の比較もユーモ
アを交えて語られました。

講師の明るく、たくま
い人生は、聞く者に大き
な感動を与えたようでした。

講師へ校長・生徒から
感謝の言葉と花束贈呈

感謝の言葉と花束